

日本未来学会 2015年大会のお知らせ（公開版）

2015. 10. 5 作成

■時 期：11月22日（日）10：30-17：00

■会 場：日本科学未来館（7階会議室、定員84名、アクセスは別途記載）

■大会テーマ：「人間に未来はあるか」

■参加費：無料（学会会員以外にも広く公開します）

+++++

■予定プログラム

【受付開始】 10：15

【セッション1】人間に未来はあるか？ 10：30-12：20

～ 進化した機械と人間は「共生」できるか

○問題意識

2045年、進化した機械が人間を凌駕するかもしれない「特異点」（カーツワイルの言う singularity）は本当に来るのか。機械と人間の「共生の道」を探る。

○進行：公文俊平&鏑木孝昭（未来学会）

○発表者

松尾豊（東大准教授、近著「人工知能は人間を超えるか」）

小林雅一（KDDI 総研リサーチフェロー、近著「AI の衝撃」）

○指定討論者

浦野幸（株 Nicogory） 中島新（株 フィックスターズ）、澤田美奈子（株 ヒューマンルネッサンス研究所）

+++++（ランチタイム）+++++

【セッション2】人間はなぜ生きるのか？ 13：10-14：50

～ センテナリアン（100歳人）の時代

○問題意識

人間の寿命は延伸し続け、100歳（センテナリアン）時代到来も視野に入ってきた。このような人類未踏の事態は何をもたらすのか、について進化生態医学、社会システム、宗教哲学など多角的な視点から検討する。

○進行：小野直哉&林光（未来学会）

○発表者

長谷川敏彦（進化生態医学、研究実験国家、ケアサイクル論、元日本医大教授）

鎌田東二（宗教哲学、「翁童論」、京都大学こころの未来研究センター教授）

○指定討論者

古田隆彦（現代社会研究所）、堀池喜一郎（元気シニア実践者）

+++++（小休止）+++++

【セッション3】日本人とは何か？ 15：00-16：40

～ グローバル時代における「日本」と「日本人」

○問題意識

人口減少モードに突入した日本において、この国を構成する人々をどう考えるか、文明・文化史的な視野から、外国人就労と生活をめぐる今日的テーマまでを含めて議論する。

○進行：和田雄志（未来学会）

○発表者

久恒啓一（多摩大学経営情報学部教授、知的生産の技術研究会理事長）

大屋雄裕（慶応義塾大学法学部教授、「国民」か「市民」か、法哲学）

○指定討論者

楊炯（行知学園）、原英史（政策工房）、橘川幸夫（デジタルメディア研究所）

+++++

【総括】16：40-17：00

司会：公文俊平会長

会場：日本科学未来館（7階会議室）



所在地：東京都江東区青海 2-3-6

Tel: 03-3570-9151（代表）

<交通手段>

■電車

- 新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」下車、徒歩約5分／「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分

■路線バス：都営バス（「日本科学未来館前」で下車）

- 波01 出入「品川駅港南口～日本科学未来館前」（運行本数が少ないため事前に時刻表をご確認ください。）
- 海01「門前仲町駅～日本科学未来館前」
- 急行05（土日祝のみ運行）「錦糸町駅～日本科学未来館」
- 急行06（土日祝のみ運行）「森下駅～日本科学未来館」

<その他>

会員以外の一般参加も受け付けます。希望者には資料集を実費配布します（1000円程度）。

日本未来学会の会員は年会費として3000円、理事は5000円を当日、会場にてお支払いください。（配布資料代が含まれます）

■参加申し込み方法：氏名、所属を明記の上、以下の宛先にメールをお願いします。

yj.wada@ifeng.or.jp 日本未来学会事務局長 和田雄志

以上